



ロケーション階層

Cisco Prime Infrastructure または Catalyst Center からインポートされたマップで定義されている階層構造が自動的にロケーション階層に反映されます。

[ロケーション階層 (Location Hierarchy)] ウィンドウでは、デフォルトの顧客名 (ルートロケーション) が自動的に選択され、[マップ (Map)] タブにはマップにロケーションが表示されません。

[ロケーション階層 (Location Hierarchy)] ウィンドウの左側のペインには、インポートされたルートロケーションとデフォルトの顧客名 (ルート名) が表示されます。プラス記号をクリックすると、階層を展開して表示できます。ルートロケーションにある建物と関連するフロアを表示できます。

左側のペインからルートロケーションを選択すると、キャンパス、建物、グループ、フロア、ゾーンの数に関する追加情報も表示できます。

選択したロケーション、建物、またはフロアに関する追加情報が以下のタブに表示されます。

- **マップ (Map)** : マップ上で選択したロケーションを表示します。
- **ロケーション情報 (Location Info)** : ロケーションデータ情報を表示します。
- **ネットワークデバイス (Network Devices)** : 接続されているネットワークデバイスと実行中のデバイスをすべて表示し、これらのデバイス数を表示します。
- **メタデータ (Metadata)** : 設定されたメタデータ情報を表示します。
- **ロケーション (Locations)** : ロケーションノードを表示します。
- **ユーザー (Users)** : ユーザーを表示します。
- **ライセンス使用状況 (License Usage)** : ライセンスタイプ、アクセスポイント、Webex デバイス、Meraki カメラ、ロケーション、および建物単位の情報を表示します。

[ロケーション階層 (Location Hierarchy)] ウィンドウでは、次の追加タスクを実行できます。

- **検索 (Search)** : [検索 (Search)] フィールドにロケーション名を入力し、**Enter** キーを押します。検索語は 4 文字以上にする必要があります。[最近の検索 (Recent Searches)] エリアには、検索結果が表示されます。

- **名前の変更 (Rename)** : ロケーションの横にある3つのドットをクリックし、[ロケーション名の変更 (Rename Location)] をクリックしてロケーション名を編集します。
- **削除 (Delete)** : ロケーションの横にある3つのドットをクリックし、[ロケーションの削除 (Delete Location)] をクリックして、[ロケーション階層 (Location Hierarchy)] からそのロケーションを削除します。

ロケーション階層は、特定のフロアでリッチマップが利用可能な場合、それらが表示されます。リッチマップをアップロードするオプションは、現在、Cisco Spaces サポートチームによって管理されています。[3D] トグルボタンをクリックすると、2D フロアマップと3D フロアマップを切り替えることができます。

ロケーション階層には、Cisco Spaces ユーザーがアクセスできるロケーションのみが表示されます。これらのロケーションへのアクセス可能性は、ロールを作成または編集するか、[管理者管理 (Admin Management)] で Cisco Spaces ユーザーを招待または編集するときに定義されます。

- [ロケーション情報の表示 \(2 ページ\)](#)
- [ロケーション情報の更新 \(6 ページ\)](#)
- [ネットワークデバイスの表示 \(8 ページ\)](#)
- [メタデータの設定 \(9 ページ\)](#)
- [ロケーションの表示, on page 10](#)
- [ユーザーの表示, on page 11](#)

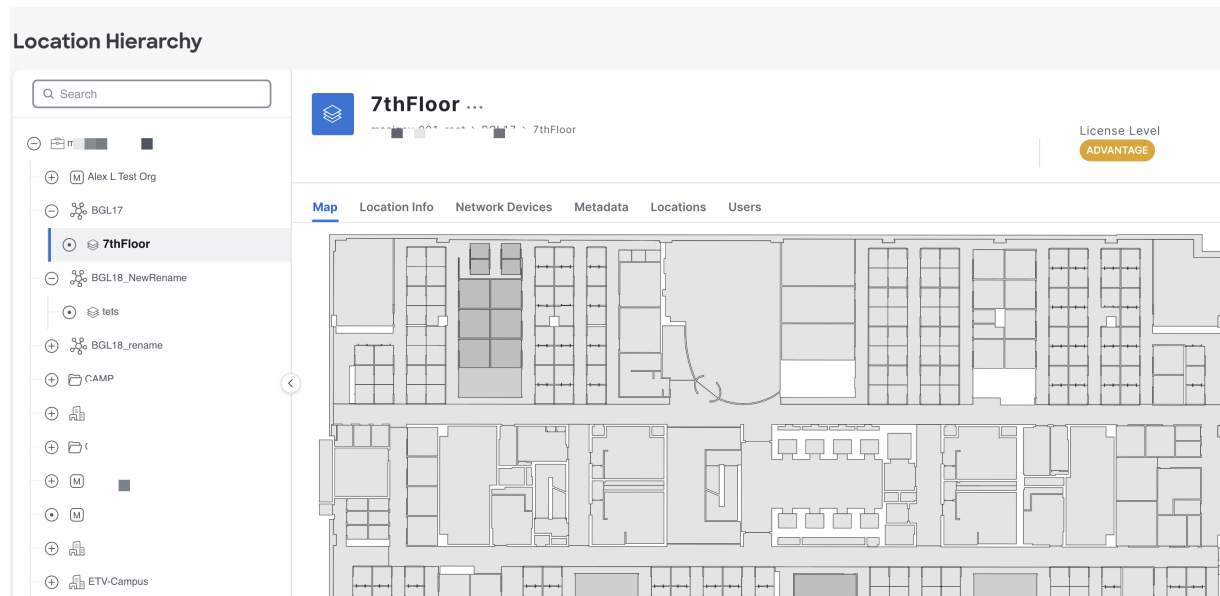
ロケーション情報の表示

[マップ (Map)] タブ (Cisco Spaces ダッシュボード > メニューアイコン (☰) > [ロケーション階層 (Location Hierarchy)] > [ルートロケーション (Root Location)]) を使用して、マップ上に選択したロケーション、キャンパス、建物、およびフロアの情報を表示します。


ルートロケーションを選択すると、デフォルトの世界地図が表示されます。

ただし、場合によっては、自動的にマップ上の正確な位置にズームインされ、プロッターアイコンとともに表示されます。プロッターアイコンをクリックすると、ロケーションアドレス、総面積、最大キャパシティ、タイムゾーンの詳細などの追加情報を表示できます。正確な位置は、緯度と経度の情報に基づいてプロットされます。

図 1: マップタブ



建物を選択すると、デフォルトの世界地図が表示されます。

フロアを選択すると、正確なフロアマップイメージが表示されます。ポリゴンツール () を使用してゾーンを作成します。詳細については、[ゾーンの作成 \(3 ページ\)](#) を参照してください。

選択した場所に応じて、次の情報が表示されます。

- マニュアルの構成
- キャンパス
- 建物
- フロア
- ゾーン
- アラート (Alerts)


ゾーンの作成

[マップ (Map)] タブを使用して、**ロケーション階層** に Cisco CMX ゾーンを作成します。



(注) 現在、Cisco Meraki のゾーンベースレポートは、**Right Now (現在の状況)** アプリケーションおよび **Firehose** デバイスのロケーション更新イベントでのみサポートされています。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Spaces にログインします。
- ステップ 2** Cisco Spaces ダッシュボードで、[メニュー (Menu)]アイコン (☰) をクリックし、[ロケーション階層 (Location Hierarchy)]を選択します。
- [ロケーション階層 (Location Hierarchy)]ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** 左側のペインで、必要なフロアの場所に移動します。
- フロアマップが表示されます。
- ステップ 4** マップ上のポリゴンツール () をクリックします。
- カーソルがプラスのアイコンに変わります。
- ステップ 5** 必要なマップエリアをクリックし、カーソルを移動して、選択した多角形のゾーンを描画します。
- ステップ 6** ダブルクリックして、ゾーンの作成を完了します。
- 右側のペインにポップアップウィンドウが表示されます。
- ステップ 7** [Zone Name (ゾーン名)]フィールドに、ゾーンの名前を入力します。
- ステップ 8** ゾーンを区別するオーバーレイカラーを選択します。
- ステップ 9** [Save] をクリックします。
- 新しいゾーンが作成され、[Location Hierarchy (ロケーション階層)]ウィンドウが更新され、ルートロケーションが表示されます。
 - 左側のペインで、新しいゾーンを作成したフロアに移動すると、Cisco CMX ゾーンがフロア階層の下に新しい項目として表示されます。
- ステップ 10** (オプション) ゾーンの詳細を更新するには、マップ上のポリゴンアイコンをクリックします。
-

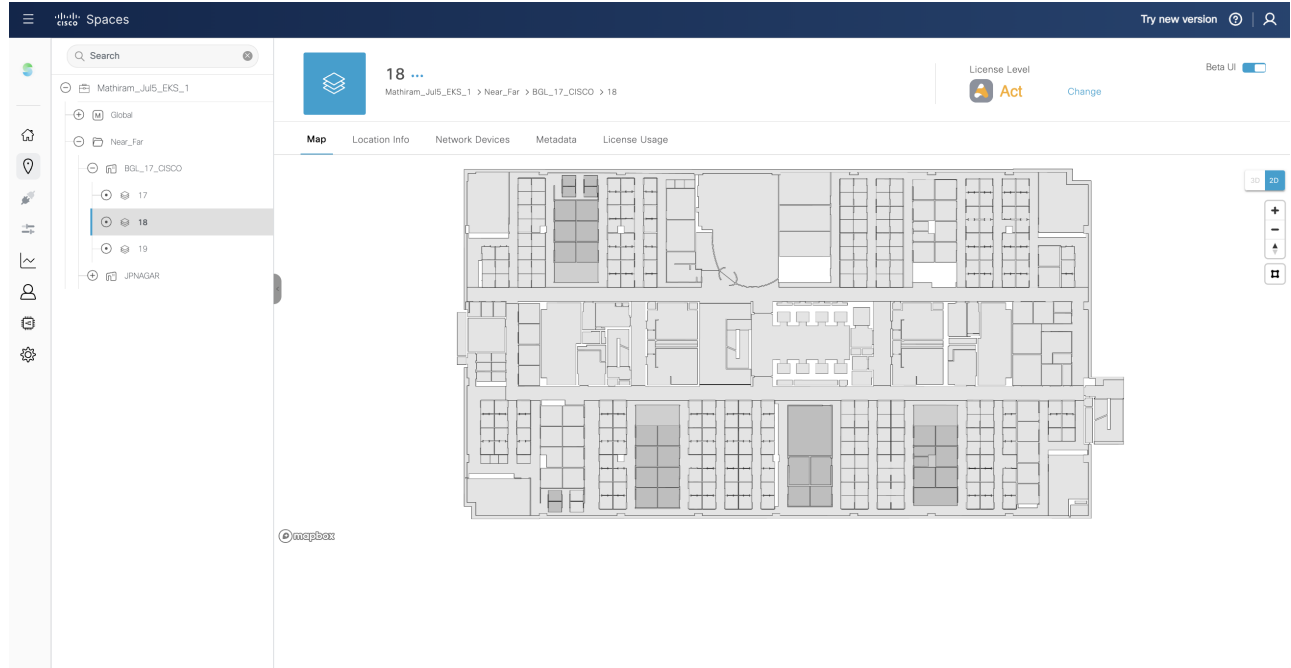
フロアロケーションのゾーンの作成



手順

-
- ステップ 1** Cisco Spaces にログインします。
- ステップ 2** Cisco Spaces ダッシュボードで、[メニュー (Menu)]アイコン (☰) をクリックし、[ロケーション階層 (Location Hierarchy)]を選択します。
- [ロケーション階層 (Location Hierarchy)]ウィンドウが表示されます。

- ステップ3** 左側のペインで、必要なフロアの場所に移動します。
フロアマップが表示されます。

図2: マップタブ



- ステップ4** マップ上のポリゴンツール () をクリックします。
カーソルがプラスのアイコンに変わります。
- ステップ5** 必要なマップエリアをクリックし、カーソルを移動して、選択した多角形のゾーンを描画します。
- ステップ6** ダブルクリックして、ゾーンの作成を完了します。
右側のペインにポップアップウィンドウが表示されます。
- ステップ7** [Zone Name (ゾーン名)] フィールドに、ゾーンの名前を入力します。
- ステップ8** ゾーンを区別するオーバーレイカラーを選択します。
- ステップ9** [Save] をクリックします。
- 新しいゾーンが作成され、[Location Hierarchy (ロケーション階層)] ウィンドウが更新され、ルートロケーションが表示されます。
 - 左側のペインで、新しいゾーンを作成したフロアに移動すると、そのゾーンがフロア階層の下に新しい項目として表示されます。
- ステップ10** (オプション) ゾーンの詳細を更新するには、マップ上のポリゴンツール () をクリックします。

ロケーション情報の更新

ロケーション情報を表示および編集するには、[ロケーション情報 (Location Info)] タブ (Cisco Spaces ダッシュボード > [メニュー (Menu)] アイコン (☰) > [ロケーション階層 (Location Hierarchy)] > [ルートロケーション (Root Location)]) を使用します。

選択したロケーションについて、ノードタイプとネットワーク参照の詳細が表示されます。

図 3: ロケーション情報タブ

Brand	Testing
Total Area	100 Square Feet
Occupancy Limit (MAX CAPACITY)	11
Country	NA
State	NA
City	Hosur
Zipcode	635126
Latitude	NA
Longitude	NA
Time Zone	Asia/Dubai

[編集 (Edit)] をクリックしてロケーション情報を更新します。詳細については、[ロケーション情報の編集 \(7 ページ\)](#) を参照してください。



(注) 親ロケーションから継承したロケーションデータフィールドはオレンジ色で強調表示されます。不整合を避けるために、ロケーションデータはロケーションごとに個別に更新することを強く推奨しています。

ロケーション情報の編集

手順

ステップ 1 Cisco Spaces にログインします。

ステップ 2 Cisco Spaces ダッシュボードで、[メニュー (Menu)] アイコン (☰) をクリックし、[ロケーション階層 (Location Hierarchy)] を選択します。

[ロケーション階層 (Location Hierarchy)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 左側のペインで、必要な場所に移動します。

ステップ 4 [ロケーション情報 (Location Info)] タブをクリックします。

ステップ 5 [ロケーションデータ (Location Data)] の横にある [編集 (Edit)] をクリックします。

スライドインウィンドウが表示されます。

ステップ 6 必要に応じて、以下のロケーション情報を更新します。

- a) **ロケーション名 (Location Name)** : ロケーションの名前を編集します。
- b) **ブランド (Brand)** : ブランド名を編集します。
- c) **総面積 (Total Area)** : 合計エリアの詳細を編集します。
- d) **単位 (Unit)** : 入力される合計エリアの単位を選択します。オプションは[平方フィート (Square Feet)] および[平方メートル (Square Meter)] です。
- e) **占有制限 (最大キャパシティ) (Occupancy Limit (Max Capacity))** : 占有制限/最大キャパシティの詳細を編集します。
- f) **アドレス (Address)** : アドレスの詳細を入力し、表示されるオプションから選択します。選択したアドレスは、右側に表示されるマップにプロットされます。
- g) **緯度 (Latitude)** : 選択したアドレスの緯度を表示します。この値は編集できません。
- h) **経度 (Longitude)** : 選択したアドレスの経度を表示します。この値は編集できません。
- i) **タイムゾーン (Time Zone)** : [タイムゾーンの検索 (Search Timezone)] フィールドに検索語を入力し、使用可能なオプションから検索または選択します。

ステップ 7 [Save] をクリックします。

アクセス ポイント プレフィックスの編集

複数のプレフィックスを持つ AP をネットワークに追加できます。たとえば、プレフィックスが AB、BC、および CA の AP があり、AB および BC の AP を 1 つのワイヤレスネットワークにグループ化する場合、それが可能です。

[Access Points Prefix Used] オプションは、ネットワークロケーションでのみ、[Location Info] タブで使用できます。ただし、[Access Points Prefix Used] オプションを [Unconfigured] のネットワークに使用することはできません。

複数のプレフィックスを持つAPを、シスコワイヤレスコントローラまたはCisco Catalyst 9800シリーズワイヤレスコントローラのネットワークに追加するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 Cisco Spaces にログインします。

ステップ 2 Cisco Spaces ダッシュボードで、[メニュー (Menu)] アイコン (☰) をクリックし、[ロケーション階層 (Location Hierarchy)] を選択します。

[ロケーション階層 (Location Hierarchy)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 左側のペインで、必要なネットワークに移動します。

ステップ 4 [ロケーション情報 (Location Info)] タブをクリックします。

ステップ 5 [アクセスポイントの使用プレフィックス (Access Point Prefix Used)] の横にある [追加/編集 (Add/Edit)] をクリックします。

ステップ 6 [Add/Edit Prefix (プレフィックスの追加/編集)] ウィンドウの [プレフィックス (Prefix)] フィールドに、プレフィックスを入力します。

入力されたプレフィックスを持つアクセスポイントが一覧表示されます。

ステップ 7 [プレフィックスの追加 (Add Prefix)] をクリックします。

新しく追加されたプレフィックスが、ウィンドウの右側のペインの [追加されたプレフィックス (Added Prefixes)] の下にリストされます。[プレフィックスの追加 (Add Prefix)] は、入力されたプレフィックスを持つAPが利用できる場合にのみ有効です。

ステップ 8 [Save] をクリックします。

プレフィックスを追加した後、**未構成**のネットワークの下にある、このプレフィックスを持つAPがこのネットワークに移動します。

プレフィックスを削除するには、[追加されたプレフィックス (Added Prefixes)] の下にあるプレフィックスにカーソルを合わせ、[削除 (Delete)] アイコンをクリックします。

ネットワークデバイスの表示

[ネットワークデバイス (Network Devices)] タブ (Cisco Spaces ダッシュボード > [メニュー (Menu)] アイコン (☰) > [ロケーション階層 (Location Hierarchy)] > [ルートロケーション (Root Location)]) を使用して、選択したノードの下にある全ネットワークデバイスを表示します。ルートロケーションには、ロケーション階層内で使用可能なすべての接続済みデバイスが表示されます。

選択した場所に応じて、次の情報が表示されます。

- **[アクセスポイント (Access Points)]** : AP の名前、MAC アドレス、およびロケーション階層パスを表示します。特定の AP を検索するには、[テーブルを検索 (Search Table)] フィールドを使用します。階層パスをコピーするには、[ロケーション] フィールドの横にあるコピーアイコンをクリックします。[セットアップ (Setup)] ウィンドウに移動して、AP を設定します。
- **カメラ (Cameras)** : カメラ名、シリアル番号、MAC アドレス、トリップワイヤのステータス (設定/非設定) など、接続されたカメラの詳細を表示します。特定のカメラを検索するには、[テーブルを検索 (Search Table)] フィールドを使用します。[Meraki カメラを接続する (Connect your Meraki Camera)] ウィンドウに移動して、追加のデバイスを接続します。
- **セキュリティアプライアンス (Security Appliances)** : それぞれの場所でのセキュリティアプライアンスデバイスの詳細なリストを表示します。
- **Webex デバイス (Webex Devices)** : 接続されている Cisco Webex デバイスを表示します。
- **リンクされたデバイス (Linked Devices)** : このロケーションに設定されているリンクされたデバイスを表示します。IoT デバイス、非 Webex サイネージ、およびスマート PUD をリンクできます。

メタデータの設定

メタデータ情報を表示するには、[メタデータ (Metadata)] タブ (Cisco Spaces ダッシュボード > メニュー (Menu) アイコン (☰) > [ロケーション階層 (Location Hierarchy)] > [ルートの場合 (Root Location)]) を使用します。メタデータがまだ設定されていない場合は、[メタデータの追加 (Add Metadata)] をクリックしてメタデータを追加します。詳細については、[メタデータの追加 \(10 ページ\)](#) を参照してください。

図 4: メタデータタブ

Metadata Key	Value	Actions
Org	04	
Building	72	

選択した場所に応じて、次の情報が表示されます。

- **メタデータキー (Metadata Key)** : メタデータキーを表示します。
- **値 (Value)** : メタデータキーの値を表示します。値には英数字と特殊文字も使用できません (例: xyz123@)。

メタデータの追加

手順

ステップ 1 Cisco Spaces にログインします。

ステップ 2 Cisco Spaces ダッシュボードで、[メニュー (Menu)] アイコン (☰) をクリックし、[ロケーション階層 (Location Hierarchy)] を選択します。

[ロケーション階層 (Location Hierarchy)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 左側のペインで、必要な場所に移動します。

ステップ 4 [メタデータ (Metadata)] タブをクリックします。

ステップ 5 [メタデータの追加 (Add Metadata)] をクリックします。

ステップ 6 [キー (Key)] フィールドに、メタデータキーを入力するか選択します。

ステップ 7 [値 (Value)] フィールドにキーの値を入力します。

ステップ 8 (オプション) [メタデータの追加 (Add Metadata)] をクリックして、複数のメタデータキーと対応する値を追加します。

キーを削除するには、メタデータキーの横にある [削除 (Delete)] アイコンをクリックします。

ステップ 9 [Save] をクリックします。

新しいメタデータキーと値が [メタデータ (Metadata)] タブに表示されます。[編集 (Edit)] アイコンをクリックして、キー情報を更新します。

ロケーションの表示

[ロケーション (Locations)] タブ (Cisco Spaces ダッシュボード [メニュー (Menu)] アイコン (☰) [ロケーション階層 (Location Hierarchy)] [ルートロケーション (Root Location)]) を使用して、ロケーションタイプやレベルなどのロケーション情報を表示します。

[ロケーションタイプ (Location Type)] と [レベル (Level)] ドロップダウンオプションを使用して、ロケーション設定を選択します。ロケーションタイプは次のとおりです:

- Network
- キャンパス

- Group
- マニュアルの構成

選択したロケーションについて、次の詳細を表示します。

- ロケーション
- AP
- Camera
- 最大キャパシティ
- 総面積（平方フィート）
- Time Zone

ロケーションの横にある必須のチェックボックスをオンにして、[グループの作成（Create Group）] をクリックしてロケーションを追加し、独自のグループを作成します。

ユーザーの表示

[ユーザー（Users）] タブ（Cisco Spaces [ダッシュボード（Dashboard）] [メニュー（Menu）] アイコン（☰） [ロケーション階層（Location Hierarchy）] [ルートロケーション（Root Location）]）を使用して、ユーザーとそのロール権限を表示します。

次の詳細の表示

- ユーザー
- Role
- 権限：読み取りと書き込み
- 権限：読み取り専用
- ロケーション

[検索（Search）] オプションを使用してユーザーを検索します。ユーザーをクリックすると、[管理者管理（Admin Management）] > [ユーザーの編集（Edit User）] ウィンドウで権限設定を編集できます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。